

(シラバス No.20)(専門科目(学校教育領域))

科目名	教材・授業研究Ⅱ(数理)	単位数	2単位	科目コード	B6
	Practical Seminar on Instructional Materials and Lesson StudyⅡ(Science)	形態	選択		
		担当教員	西村哲雄	教職	小
【授業概要】					
<p>本演習は、理科教育において、戦後、社会の要請に応えながら、理科教育をリードしてきた学習指導要領の幾たびかの改訂にもかかわらず、これまで授業改善が進まなかった要因の一つに、理科教育の目標や指導方法が全教師に浸透していないことを明らかにし、児童生徒が実感を伴った理解が図れるような指導方法の工夫・改善ができるようにする。</p> <p>理科教育に必要な教育内容の系統性を明らかにしつつ、その内容に精通することと、模擬授業実践を通して児童生徒が理科のよさや楽しさを味わえるよう、指導内容・方法を抜本的に見直し、授業改善を図ることを主眼とする。</p> <p>さらに、共生社会実現の観点から環境教育を重視した授業の創造を考える。</p>					
【授業の到達目標】					
<ol style="list-style-type: none"> 戦後8回の学習指導要領の改訂(理科)で、確かな授業改善ができなかった理由を理解する。 物理・化学(第一分野)の授業内容の系統性を明らかにし、その内容に精通するとともに実感を伴った理解が図れるよう、物理・化学分野の指導内容・方法を見直した授業が実践できる。 生物・地学(第二分野)の授業内容の系統性を明らかにしその内容に精通するとともに、実感を伴った理解が図れるよう、生物・地学分野の指導内容・方法を見直した授業が実践できる。 					
【授業計画】					
<ol style="list-style-type: none"> 学習指導要領の変遷を通して、時代背景を理解する 学習指導要領の変遷を通して、理科教育の動向を理解する 風やゴムの働き、振り子の運動、運動の規則性 電気の利用、電流、電流と磁界 3回目、4回目の内容について、各自が指導案の作成し、・模擬授業を実践する 水溶液の性質、酸・アルカリとイオン 状態変化、化学変化、化学変化と物質の質量 6回目、7回目の内容について、各自が指導案の作成し、・模擬授業を実践する 動物の誕生、動物の体のつくりと働き、生物の成長と殖え方 植物の発芽、成長、結実、生物と細胞、生物の変遷と進化 9回目、10回目の内容について、各自が指導案の作成し、・模擬授業を実践する 流水の働き、火山と地震、地層の重なりと過去の様子 天気の変化、月と星、太陽系と恒星 12回目、13回目の内容について、各自が指導案の作成し、・模擬授業を実践する 生物と環境、自然の恵みと災害、自然環境の保全と科学技術の利用と環境教育 					
【評価方法】					
「授業内で課すレポート評価」(50%)、「科目修得試験」(50%)の割合で総合して評価する。					
【教科書】					
小学校学習指導要領解説理科編、中学校学習指導要領解説理科編 そのほか、授業時にて適宜プリントを配布する					
【参考図書】					
地球学入門(酒井治孝著・東海大学出版会)					